令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和８年９月

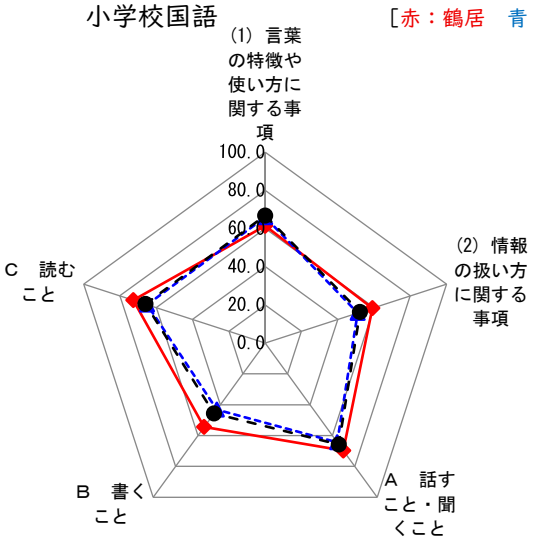
Ⅰ　調査の概要

調査の目的	学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクル（PDCA）を確立する。
調査の対象	小学校６学年児童（13名）　中学校３学年生徒（15名）
調査の内容	（１）教科に関する調査　小学校（国語・算数）中学校（国語・数学・英語） ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価改善する力等 （２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 ①児童生徒に対する調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 ②学校に対する調査　…指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査
調査実施日	令和８年４月23日（木）

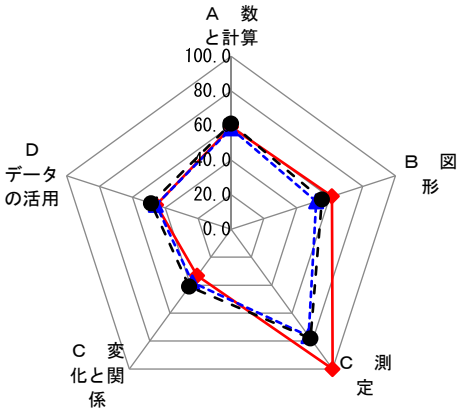
２　調査結果の概要

（１）　教科に関する調査《教科の領域別に全国の平均正答率を１００とした場合の状況》

小学校国語　［赤：鶴居　青：北海道　黒：全国］

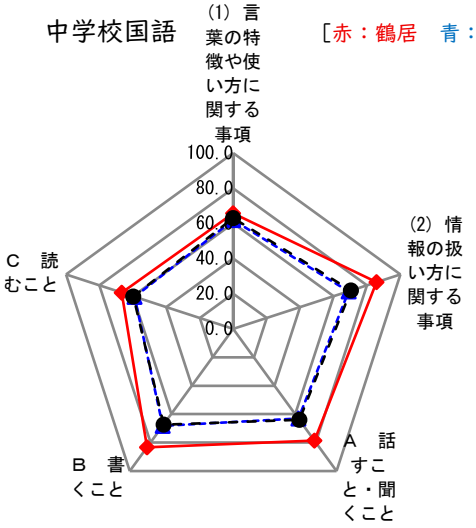


小学校算数

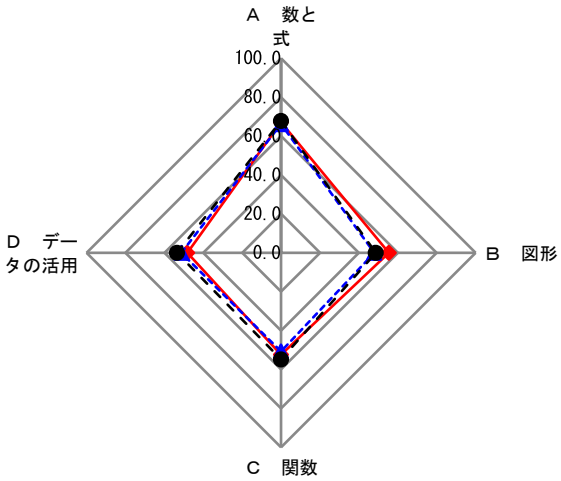


小学校　平均正答率は、国語では全国平均を上回り、算数では全国平均を若干下回るも北海道平均を上回っている。

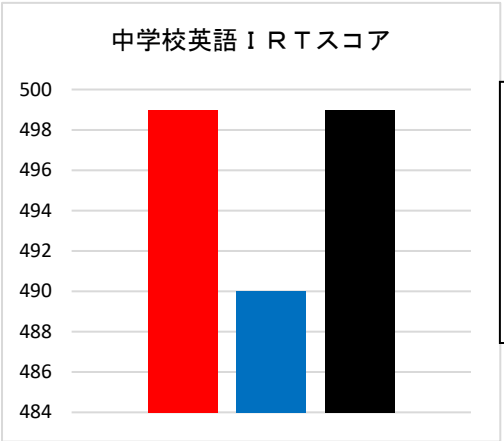
中学校国語　［赤：鶴居　青：北海道　黒：全国］



中学校数学



中学校英語



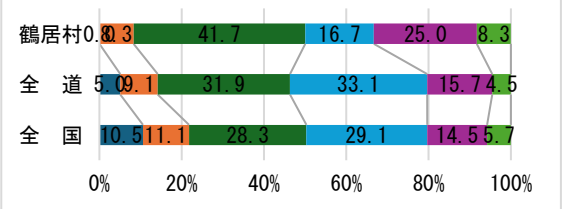
中学校英語は「IRT スコア」をベースに結果が示されている。IRT とは、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論のこと。項目反応理論（Item Response Theory）

中学校　平均正答率は国語では全国平均を上回り、数学では全国平均と同じ、英語では4技能の平均 IRT スコアで全国平均と同じである。

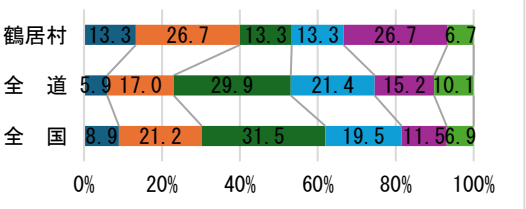
（２）　生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学校の授業時間以外に、普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（学習塾の時間、家庭教師の時間等を含む）左から 3h 以上、2～3h、1～2h、30～60 分、30 分未満、全くしない

小学校



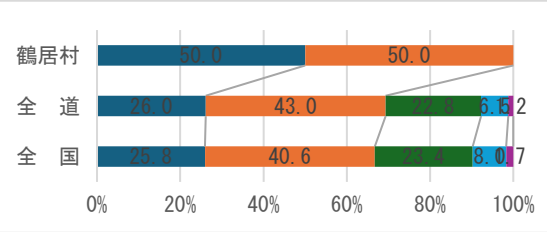
中学校



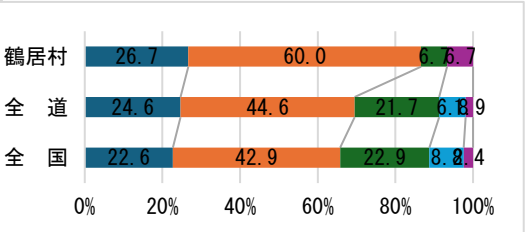
5年生まで（中学1、2年生まで）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していましたか。

左から、発表していた、どちらかといえばしていた、どちらかといえばしていない、していない、機会がなかった

小学校



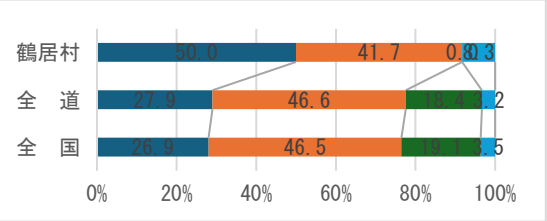
中学校



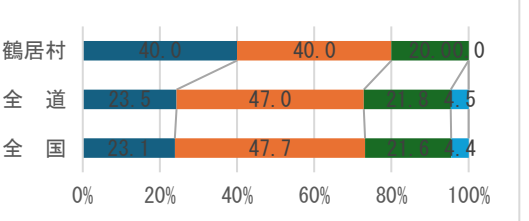
5年生まで（中学1、2年生まで）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



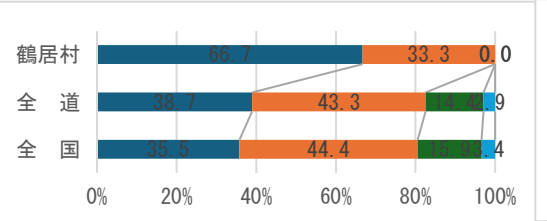
中学校



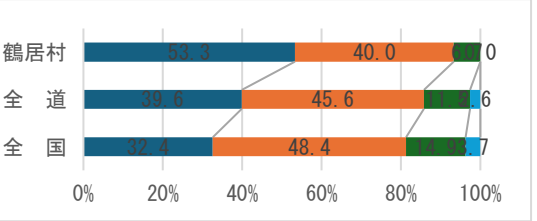
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



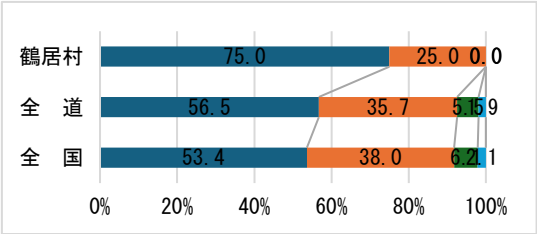
中学校



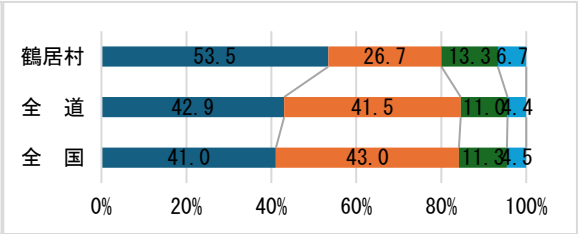
自分にはよいところがあると思いますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



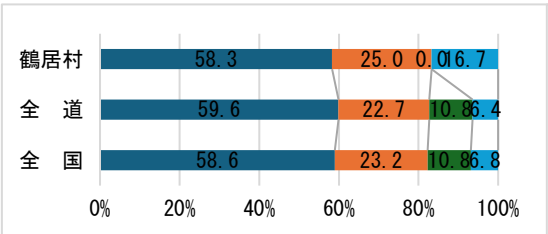
中学校



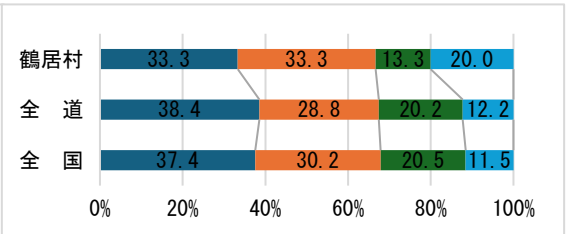
将来の夢や目標を持っていますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



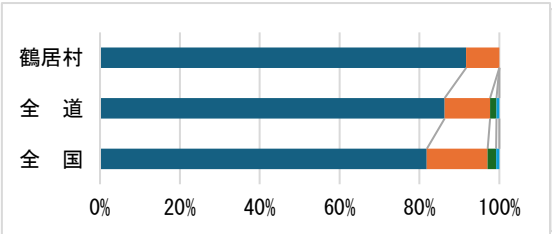
中学校



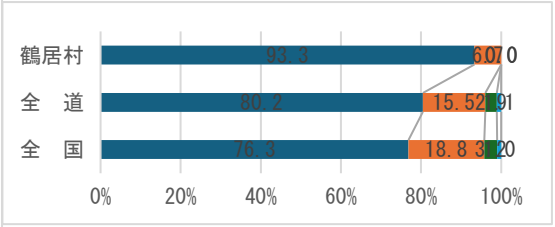
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



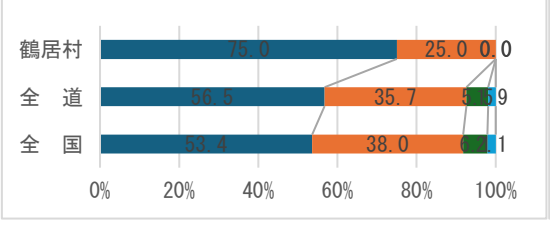
中学校



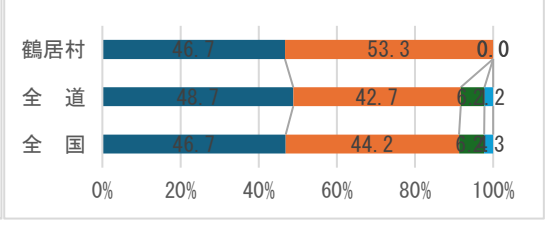
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校

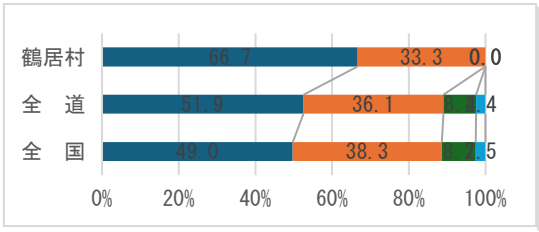


中学校

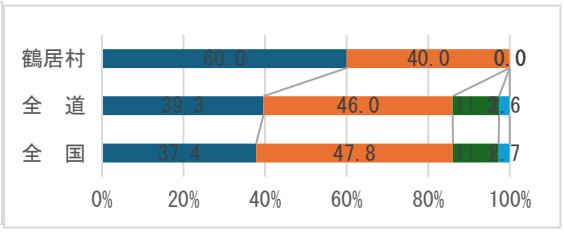


先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。**左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他**

小学校



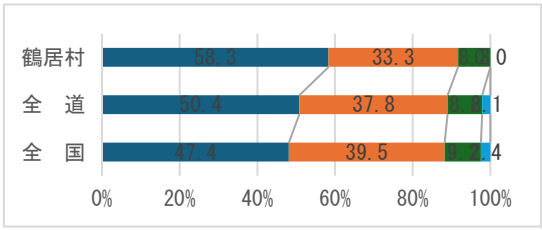
中学校



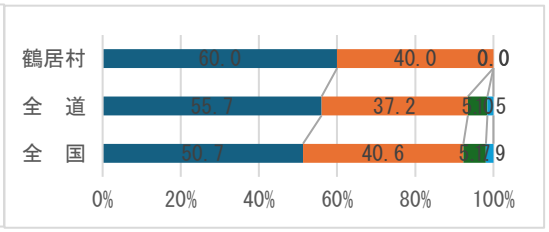
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



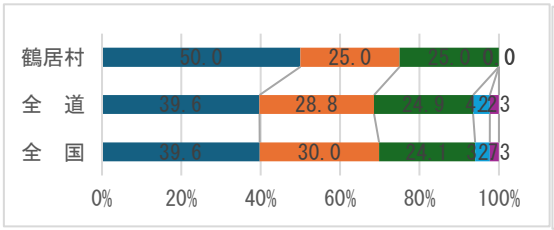
中学校



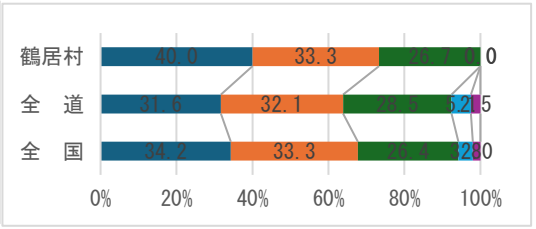
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。

左から、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他

小学校



中学校



3　調査後の対応

○各学校は、ICT の活用や児童生徒による話合いや自分の考えをまとめたり、表現したりする学習について成果が出ている。主体的・対話的で深い学びに向けて日常的に取り組んでいる成果であると考える。

○鶴居村教育委員会として、今後も児童生徒理解や学級経営の大切さ、授業における指導方法、授業改善、ICT の活用など各学校の教育活動がより充実が図れるように指導・助言をしていく。

○学習習慣の確立や望ましい生活習慣についていくつか課題が見られる。今後とも学校・家庭・地域・行政が連携して継続した取組を行っていく。

○総合的な学習や特別活動を中心に 9 年間を見通した教育活動に向けて各学校と共有し推進していく。